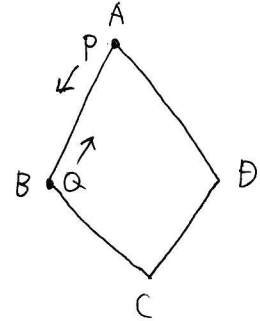


(例題) 1辺の長さが1cmのひし形ABCD上の図の位置に、
 2点P、Qがいる。大小2つのサイコロを投げ、大きいサイコロ
 の目の数だけ点Pが反時計まわり、小さいサイコロの目の数
 だけ点Qが時計まわりに頂点を移動する。
 移動後に2点が同じ場所にいる確率は？



「サイコロ1個ずつ振った」とは書いていないが、
 書いていない時はサイコロ1個ずつ振ったと思ってOK

サイコロ2個の問題なので、分母はいつも 36 。

あとはあてはまるやつを探しにいく。

①がサイコロ①のとき、'B'に移動する。
 ⑥はサイコロ④だせば重なってOK。

P Q
 ① - ④ •

②がサイコロ②のとき、'C'に移動する。
 ③はサイコロ③だせば重なってOK

② - ③ •

③がサイコロ③のとき、'D'に移動する。
 ②はサイコロ②と⑥だせば重なってOK

③ < ② •
 ③ < ⑥ •

④がサイコロ④のとき、'A'に移動する。
 ⑤はサイコロ①と⑤だせば重なってOK

④ < ① •
 ④ < ⑤ •

同様に⑤がサイコロ⑤のときと⑥のときもやる。 ⑤ - ④ •

全部で重なるのは8通りあった。(分子) ⑥ - ③ •

$$\frac{8}{36} = \frac{2}{9}$$